



名称	木造地藏菩薩坐像 附 木造厨子
よみがな	もくぞうじぞうぼさつぞう もくぞうずし
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	彫刻
所在地	東町
所有者	地藏堂
員数	1 軀(像) 1 基(厨子)
指定年月日	昭和 36 年(1961)4 月 28 日
構造形式	寄木造
法量	像高 48. 0cm
時代	室町時代 天正 5 年(1577)
公開状況	特別公開時のみ公開
交通案内	JR三原駅から東へ約 1km

【解説】

この像は、『三原志稿』に紀州より三原に来た荒木助市が出家して堂を建立し、持参してきた地藏菩薩を本尊としたとあります。この本尊が地藏菩薩坐像で、柔和端麗な面相の半跏思惟像で、天正 5 年(1577)の墨書銘があります。

厨子は、両開き扉付きで、外部は黒漆、内部は金箔が施されています。扉の中央部には、猪の目の形をした真鍮製の金具が付けられています。